

注意欠如多動性障害:AD/HD

医療現場における発達障害の
診断と治療の実際:

—特に薬物治療とその作用を中心に—

「注意欠陥多動性障害 ADHD」

自治医科大学小児科
長嶋 雅子

注意欠陥多動性障害

Attention-deficit/hyperactivity disorder : ADHD

- 「多動、衝動性、不注意を主症状とし、生来的な脳機能障害が発現の主要因であるものを中核とする症候群」

注意欠陥/多動性障害-ADHDの診断・治療ガイドライン 改訂版 2006-

- 原因: 大脳皮質(特に前頭前野)におけるカテコラミン代謝異常の関与
- 性差: 男:女=2~10:1

Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders V

注意欠陥多動性障害

Attention-deficit/hyperactivity disorder : ADHD

「多動、衝動性、不注意を主症状とし、生来的な脳機能障害が発現の主要因であるものを中核とする症候群」

注意欠陥/多動性障害-ADHDの診断・治療ガイドライン 改訂版 2006-

多動性 (6項目)

- 落ち着きがない
- じっとしていない
- しゃべりすぎる etc

衝動性 (3項目)

- 思いついたらすぐ行動
- 待てない
- 出し抜けに答える etc

不注意 (9項目)

- 忘れっぽい
- 気が散りやすい
- 聞いてないように見える
- 順序立てられない etc

- 不注意、および/または多動性-衝動性の **症状のうち6つ** (またはそれ以上) が少なくとも **6カ月間持続** したことがあり、その程度は不適応的で、発達の水準に相応しない

DSM-IV-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル, 医学書院, 2004, より改変

DSM-IVのADHD 診断基準

多動性 (6項目)

- 落ち着きがない
- じっとしていない
- しゃべりすぎる etc

衝動性 (3項目)

- 思いついたらすぐ行動
- 待てない
- 出し抜けに答える etc

不注意 (9項目)

- 忘れっぽい
- 気が散りやすい
- 聞いてないように見える
- 順序立てられない etc

- 不注意、および/または多動性-衝動性の **症状のうち6つ** (またはそれ以上) が少なくとも **6カ月間持続** したことがあり、その程度は不適応的で、発達の水準に相応しない

DSM-IV-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル, 医学書院, 2004, より改変

ADHDはCommon diseaseである!

診断名	頻度
ADHD	3-7% (およそ5%)
軽度精神遅滞 (IQ<70)	3% (IQ<70かつ社会適応不全は1%)
学習障害	漢字音読障害5% アルファベット圏5-7%
自閉症スペクトラム障害	1%
小児気管支喘息	5-6%

(亀田メディカルセンター小児科 市河茂樹ら 改変)

慢性の神経発達障害である

ADHDの中核症状:

年齢に不相応な不注意、多動性、衝動性

度重なる叱責
いじめ

自己評価の低下

二次障害
(うつ病等)

4歳

8歳

早期診断・早期治療が大切!!

注意欠如多動性障害:AD/HD

ADHD 歴史上の人物



坂本龍馬

一時敵同士であった薩摩と長州を再び結びつける

- いつもポロポロこぼしながら食べる。
- 泣き虫で勉学もできない。字は汚く誤字が多い。
- いじめにあって塾を退学。
- 剣術では複数の流派で免許皆伝を得る



トーマス・エジソン

1000件を超える特許を獲得した発明家。

- 学校の授業には全く興味がわかず、小学校で問題児となり中退。
- 興味ある分野に没頭



レオナルド・ダ・ビンチ

美術史上で数々の名作を残した画家であるとともに、発明家・建築家・天文学者・音楽家

- 手がけた作品は多いが、完成した作品が少ない。

ADHDの治療

心理社会的介入

本人、家族、学校への介入

- 療育
- ペアレントトレーニング
- 環境調整
- ソーシャルスキルトレーニング(ST)

薬物療法

- 塩酸メチルフェニデート
- アトモキセチン
6歳以上で使用可能

- 抗てんかん薬
- 抗精神薬
- 抗うつ薬

心理社会的介入

ペアレントトレーニング (PT)

子どもを「ほめてしつける」ことによって、その行動を改善する方法

例) 県東健康福祉センター

テーマ	担当
1 オリエンテーション ペアレントトレーニングとは 課題「発達障害の理解」	保健師 臨床心理士
2 「行動を3つに分けよう」 課題：行動を3つに分けよう	保健師
3 「肯定的なことに注目しよう」 課題：好きな行動を挙げてほめよう	保健師
4 「好ましくない行動を減らそう」 課題：子どもの良いところをキャッチする	保健師
5 「効果的な褒めの考え方」 課題：褒めの仕方	保健師
6 ペアレントトレーニングのまとめ 課題「生き生き子育て～上手な関わり方～」	保健師 臨床心理士
7 講演 「就学に向けて、学校と上手に連携しよう」 先輩ママとの交流	芳賀教育事務所 ファーストステップ

★ 対象：年齢が4～6歳で発達や行動が気になるお子さんの保護者

＜本日の目標＞
★お父さん、お母さん！おとなりさん紹介！おとなりさんの顔に顔合わせしよう。
★子どもの行動を3つに分けよう
★行動を3つに分けよう

★子どもの行動を3つに分けよう
目的は何か分かります！目的は3つに分けてみましょう。

肯定的な注目 → (目的の心)
否定的な注目 → (注意する)

★行動を3つに分けよう
行動を3つに分けることでは実現したことがありません。目的は3つに分けてみましょう。

① あなたが好きな、もっと増やして欲しいと思う行動
② あなたが嫌いな、減らして欲しいと思う行動
③ あなたが気づかなくて、新しい行動を増やそう

心理社会的介入

ペアレントトレーニング (PT)

子どもを「ほめてしつける」ことによって、その行動を改善する方法

例) 県東健康福祉センター

テーマ	担当
1 オリエンテーション ペアレントトレーニングとは 課題「発達障害の理解」	保健師 臨床心理士
2 「行動を3つに分けよう」 課題：行動を3つに分けよう	保健師
3 「肯定的なことに注目しよう」 課題：好きな行動を挙げてほめよう	保健師
4 「好ましくない行動を減らそう」 課題：子どもの良いところをキャッチする	保健師
5 「効果的な褒めの考え方」 課題：褒めの仕方	保健師
6 ペアレントトレーニングのまとめ 課題「生き生き子育て～上手な関わり方～」	保健師 臨床心理士
7 講演 「就学に向けて、学校と上手に連携しよう」 先輩ママとの交流	芳賀教育事務所 ファーストステップ

★ 今までのPTの振り返りが生かされた
その方々を交えて話し合いを行う予定です。

動画 「行動を3つに分けよう」

お子さんの行動は「ほめよう」なものがあるのでしょうか？3つに分けてみましょう。行動を3つに分けよう。目的は3つに分けてみましょう。

月	日	行動の目標	褒めた回数	減らした回数	気づいたこと

①前回の振り返り
②テーマをまなぶ
③自宅にて実践！
④ホームワーク発表

ADHD 歴史上の人物



坂本龍馬

一時敵同士であった薩摩と長州を再び結びつけるという発想を思いついた。

良き理解者 姉・乙女 いじめっ子と戦い龍馬を守る



トーマス・エジソン

1000件を超える特許を獲得した発明家。

良き理解者 母 好きなことに没頭させる



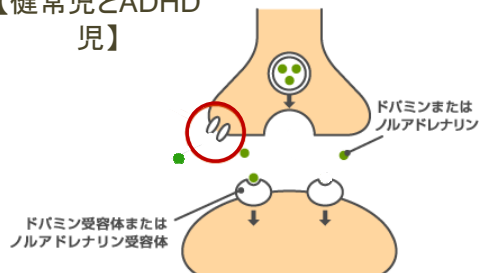
レオナルド・ダ・ビンチ

美術史上で数々の名作を残した画家であるとともに、発明家・建築家・天文学者・音楽家

良き理解者 ?

薬物療法

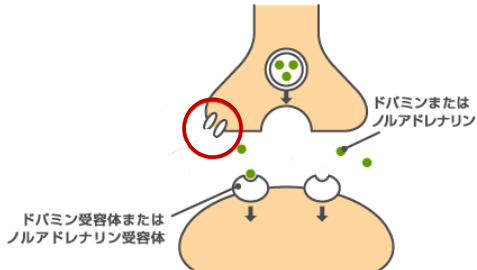
【健常児とADHD児】



注意欠如多動性障害:AD/HD

ADHD治療薬

- ①塩酸メチルフェニデート: **コンサータ®** ドパミン再取り込み阻害薬
- ②アトモキセチン: **ストラテラ®** ノルアドレナリン再取り込み阻害薬



ADHD治療薬 効果は70%

	コンサータ®	ストラテラ®
内服タイミング	朝1回	朝タ2回
効果発現	内服30分後	内服2か月後
作用時間	10時間	24時間
副作用	食欲低下・チック	腹痛・嘔気・頭痛
利点	<ul style="list-style-type: none"> すぐに効果がでる 学校で集中できる 土日は休薬できる 	<ul style="list-style-type: none"> 1日中効果がある 内用液がある
欠点	<ul style="list-style-type: none"> 朝と夕は効果が切れる 給食が食べられない(副作用) 	<ul style="list-style-type: none"> 内服効果がでるまで時間がかかる

内服の導入時期と選択

- ① 心理社会的介入を行っても症状が著しい時
- ② 二次障害の兆候がある時
- ③ ADHD治療薬は6歳以上から

コンサータ®

- 二次障害の兆候がある
- 学校で問題がある
- 頓服での使用を希望
- 衝動性が強い
- 家族の選択

ストラテラ®

- 家で問題がある
- 高学年
- チックがある
- コンサータで食欲低下がある
- 錠剤が飲めない
- 家族の選択

治療効果の判定法

Rating scale

- 全18項目
- 不注意項目(奇数番号)
- 多動・衝動性項目(偶数項目)

- ① 家族にチェックしてもらう
 - ② 学校の先生にチェックしてもらう
 - ③ 診察
- 総合的、経時的に評価

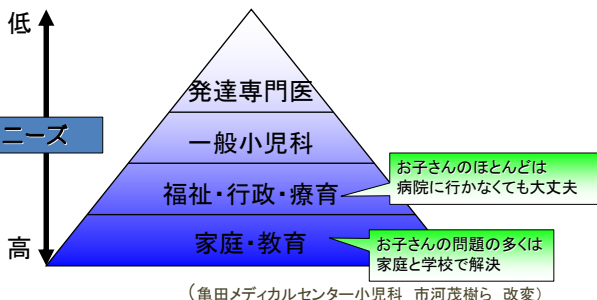
Rating scaleの問題点

- 主観的な評価
- チェックする人によって違いが著明



発達障害と地域連携

発達障害が疑われるお子さんが、
みんな医療機関を受診する必要はありません。



コンサータ導入症例

幼稚園まで

- 明るく活発だった。
- 年長になり父が他界。母が仕事で留守にすることが多くなった。この頃から衝動性が強くなった。

小学校入学

- 県内の公立小学校に入学。
- 1年生のときから忍耐力や集中力に欠け、友達とのトラブルが多かった
- 3年生の時から**教時間、別室での学習、職員室で対応**されていた。

学校から受診を勧められる

- 4年生になり、奇声をあげる、友達とのトラブルが絶えなくなった。
- 口答えするため、よく怒られる。
- 後ろ向きの発言が多くなり、担任の先生から専門外来の受診を勧められた。

注意欠如多動性障害:AD/HD

コンサータ導入症例

受診時の様子

本人
毎日先生に怒られるんだ。
僕だってがんばってるのに、ダメなんだ。
どうせできないよ。

母
家ではおりこうなんです。
確かに飽きっぽかったり、ちよろちよろして
ますが・・・
学校から言われることが信じられないので
す。

Rating scale
【学校】合計28点 不注意9点 多動・衝動19点
【自宅】合計10点 不注意5点 多動・衝動5点

コンサータ導入症例

専門外来

【診断】ADHD
【初期対応】
・家族への告知 ⇒ **二次障害が現れていること**
・環境調整
 (1):小学校の個別対応の継続
 (2):手紙による連携の継続
・薬物療法
 コンサータの内服開始

内服後

・友達から「変わったね」と言われた。友達が増えた。
・学校の先生から怒られることが少なくなった。
・学校が楽しくなった。

ストラテラ導入症例

幼稚園まで

・5歳から少人数制の私立幼稚園に入園。
発表会などの集団活動はなかった。

小学校入学

・県内の私立小学校に入学。入学後1カ月間に
●通学バスで女の子のメガネを割り、おさげを切り、暴言を吐いた。
●授業中の立ち歩き・無駄話が多く、父兄からクレームが来た。
・6月から**不登校**となり、父に包丁を向けるなど**家族関係が悪化**。

市役所・保健所に相談

・病院を受診して診断を受けることを勧められたため、
かかりつけ小児科を受診し、専門外来紹介となった。

ストラテラ導入症例

専門外来

【診断】自閉症スペクトラム障害+ADHD
【初期対応】
・家族への告知
・**ST開始**
・環境調整
 (1):在籍中の私立小学校に個別対応の提案 ⇒ 同意得られず。
 (2):自宅近くの公立小学校に転校、個別指導を開始
・薬物療法
 ストラテラの内服開始
・**関係者会議**:医師・保健所保健師・教育関係者
 (1) **保健師が家庭訪問**(主に母の心理面サポート)
 (2) 診断書を作成して教育委員会に提出。
 補助員をつけて、完全個別対応を始める。

22

ストラテラ導入症例

1年生(公立小学校)

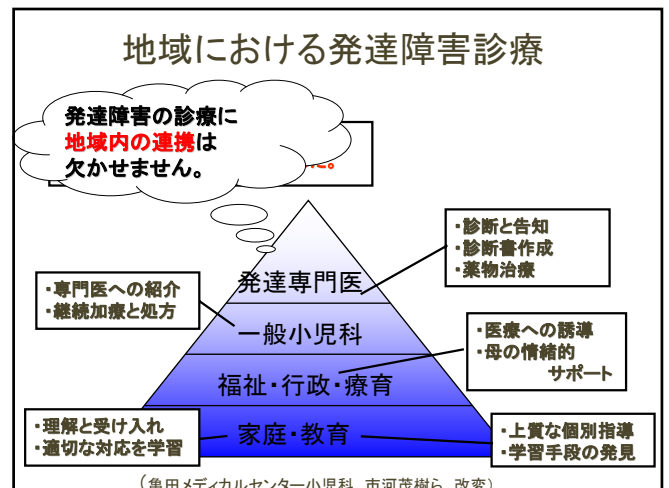
・時間をずらして登校し、母親付き添いで補助教員が1:1対応。
・勉強は気が向いたときに少々、本を読んでもすくすくすることが多かった。
・他の生徒とのトラブルが散発した。
* 補助教員が、かんしゃくを起こしたときに3分くらい抱きしめてから注意や約束をすると以後きちんと守ることを発見。母親が抱きしめても有効だった。

2年生

・朝の会・体育・学校行事は普通学級で行い、母付き添い終了。
・時間を決めて学習するようになり、「みんなと一緒に過ごしたい」と発言。
後半は国語・算数以外は普通学級で過ごす。

3年生

・完全に普通学級に移行。成績優秀で2学期は学級委員になった。
・かかりつけ小児科で定期処方、専門外来は4-6カ月に1回受診している。



注意欠如多動性障害:AD/HD

クリニックの先生方の高い必要性

発達障害はcommonな現象である

本来primary careでの対応が必要

専門機関は極端に不足

対象の子どもは多数
→子どものフォローはその地域が担う

地域での医療・福祉・教育の連携

発達障害の診断面接で心がけていること

- 患者、家族とのよりよい関係性を持つ
- Open question
- 初診時は、バランスを保つ
(すぐに当てはまる診断基準に飛びつかない)
- 共同作業の結果に診断がついてくる
- 重症度を判断する

内服している児の観察ポイント

学校の先生へ

- ◆症状の悪化
→環境の変化がないか確認
「今日は薬飲み忘れたの？」
→本人の自尊心が傷つきます
- ◆良くなったところを見つける

【コンサータ】

- ①給食が食べられない
→居残りはご容赦を
- ②身長・体重が伸びてない
→家族、主治医に連絡

【ストラテラ】

- ①頭痛・腹痛の出現
→家族に連絡

クリニックの先生へ

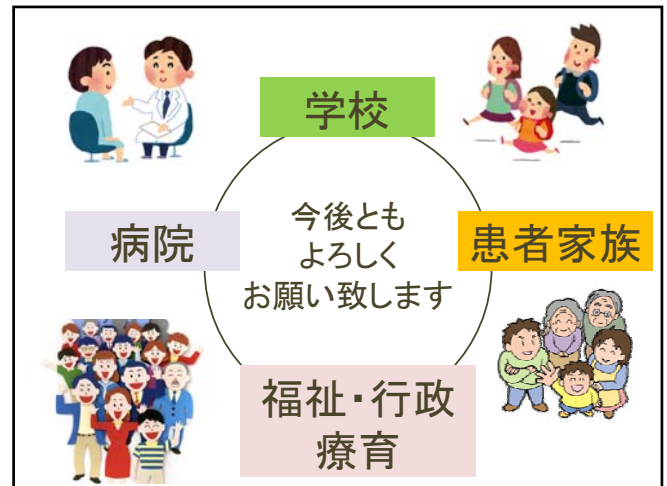
- ◆症状の悪化
→環境の変化がないか確認
- ◆内服後の効果が乏しい
→内服の変更検討
(それぞれ効果は70%)

【コンサータ】

- ①身長・体重の変化
→内服の減量、変更の検討

【ストラテラ】

- ①頭痛・腹痛の出現
→内服の減量、変更の検討



ご清聴ありがとうございました。